

令和 7 年第 5 回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--------------------|-----------|
| 1 | 開会日時 | 令和 7 年 5 月 26 日（月） | 14 時 00 分 |
| 2 | 閉会日時 | 同 日 | 15 時 15 分 |
| 3 | 開催場所 | 市役所 1 階 | 多目的ホール |
| 4 | 出席者 | 教 育 長 | 菅 野 恭 介 |
| | | 委 員 | 中 川 和 之 |
| | | 委 員 | 楠 田 初 美 |
| | | 委 員 | 深 田 英 世 |
| | | 委 員 | 荒 木 努 |

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
市参事兼こども未来課長	上 坂 智津子
教育総務課長兼施設係長	松 本 富 美
学校教育課長	小 坂 卓 司
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄一郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

6 付議事項

- 議案第 16 号 加西市教育振興基本計画審議会委員の委嘱について
- 議案第 17 号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について
- 議案第 18 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について
- 議案第 19 号 加西市認定こども園評議員の委嘱について
- 議案第 20 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について
- 議案第 21 号 加西市立学校給食センター運営方式検討委員会設置要綱の制定及び委員の委嘱について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第16号 加西市教育振興基本計画審議会委員の委嘱について

(教育総務課長の説明) 加西市教育振興基本計画審議会設置要綱第3条の規定により、加西市教育振興基本計画審議会委員に次の者を委嘱したいので委員会の議決を求めます。本年度が計画策定の年となっており、ここに記載の7名にお願いするものです。任期は令和7年6月1日から令和8年3月31日です。

議案第17号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

(学校教育課長の説明) 加西市教育支援委員会規則第2条の規定により、次の者を加西市教育支援委員会委員に委嘱及び任命したいので委員会の議決を求めます。加西市教育支援委員会は、加西市内の幼児、児童、生徒の適切な就学を図ることを目的として設置しています。任期は令和7年4月1日から令和8年3月31日です。1号委員は医師1名、2号委員は関係教育機関の職員6名、3号委員は関係行政機関の職員2名、4号委員は教育委員会の職員2名を配置し、合計11名を委嘱します。

議案第18号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

(学校教育課長の説明) 加西市立学校の児童生徒の結核対策委員会要綱第3条の規定により、加西市結核対策委員会委員に次の者を委嘱したいので委員会の議決を求めます。加西市結核対策委員会委員は、令和7年4月1日から令和8年3月31日を任期として8名の委員を委嘱するものです。本委員会は加西市の児童生徒の結核感染防止、感染者及び発病者の早期発見、早期治療、患者発生時の対応、学校保健と地域保健の連携強化を目的として設置しています。例年6月下旬に結核対策委員会を開催しておりますが、今年度は6月26日木曜日に開催することを計画しています。

教育委員の質問と学校教育課長の回答

- ・実際、加西市で小中学校合わせて何人ぐらいに結核が出ているのですか。
(回答) 出ていないです。

- ・この対策委員会では、どのようなことをされるのか教えてください。

(回答) 近年では外国から来た児童などについて精密検査の必要の有無を審議することが主な議題になることが多いです。あと、児童生徒の中にも、過去にその疑いを持たれたことがあるという子どももいて、毎年、今の状況を確認して精密検査の必要性を審議するのが主な内容です。

- ・今までにそういうことはあったのですか。

(回答) 今まで発病というか陽性というのはなかったですし、今のところは外国からの子についてもないです。

- ・家の誰かがそうであれば、疑わしきとなりますが。

(回答) 家族が疑わしいからということで、審議をしたことはありますが、家族の人が発病したからというのは今まで私の知る限りではないです。

議案第19号 加西市認定こども園評議員の委嘱について

(こども未来課長の説明) 加西市認定こども園評議員設置要綱第4条の規定により、加西市認定こども園評議員を委嘱したく委員会の議決を求めるものです。評議員の任期は令和7年4月1日から令和8年3月31日までです。委嘱候補者は6ページのとおりで、新規の方は北条ならの実こども園の3名、加西こども園の西川氏、澤中氏、泉こども園の林氏です。

議案第20号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

(教育総務課長の説明) 加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第5条第3項の規定により、加西市学校給食運営審議会委員を以下の8名に委嘱したく委員会の議決を求めます。委員の任期は令和7年5月1日から令和8年4月30日までです。

教育委員の質問と教育総務課長の回答

- ・運営審議会委員は、運営方式検討委員会委員と同じ形で設定されているのですか。

(回答) 基本的に委嘱させていただきたいのは、給食運営審議会委員です。議案第21号については、その大部分の方と専門の識者を入れて運営方式検討委員会の委員を委嘱したいと思っています。

- ・メンバーが変わるので少しややこしいのではないかと思いますのですが。

(回答) 給食運営審議会は年に1回を予定しているものなので、その方たちをお願いするのが一番スムーズかなと思いました。

議案第21号 加西市立学校給食センター運営方式検討委員会設置要綱の制定及び委員の委嘱について

(教育部長の説明) 給食センター運営方式検討委員会設置要綱を資料9ページのとおり制定し、要綱3条の規定により、次の方に委員を委嘱したいので、委員会の議決を求めます。任期は令和7年6月1日から令和8年3月31日までで、今年度だけの委員会です。

前年度に給食センターの調理の民間委託を検討したいとご報告し、2月の給食審議会で提案させていただいております。今年度は検討を進めていくということで、専門家の方と学校の先生の代表、保護者の代表の方にお入りいただき進める予定です。給食審議会で今年度、代表していただいている校長先生と代表PTAの役員の方にお入りいただいて、民間委託を特別に審議していただく検討会議を設置したいと考えています。連携している兵庫教育大学の講師で日本給食経営学会や日本調理科学会でもご活動されている先生に委員に入っていただき、今回、審議会とは別に民間委託について特出しして委員会の設置をするものです。

今年度に3回開催を予定し、初回には給食センターの運営方式について教育長から委員長に諮問をいただき、3回目に答申をいただくという流れで進めていきたいと考えています。初回は6月24日夜6時から総合教育センターの会議室で開催予定です。

食材の選定や献立とか、通常、栄養教諭が行う部分については変わらず、直営でやっている調理室の業務だけを委託できないものか、保護者や先生方にご意見をいただきたく考えています。令和8年の準備期間を経て、令和9年度から委託を開始していくスケジュールで現在のところ考えています。

教育委員の質問と教育部長の回答

- ・予算は考えられているのですか。

(回答) 今年度につきましては検討会議ですので、検討会議を開くための予算はございます。準備費とかは来年以降になりますので、来年度の予算となります。

- ・実際に委託して先のことを考えると、働く人は民間に移すということなので、先を見立てて予算的には今の予算よりも多いのか、それともこれから増えていくのかどうかというようなことも踏まえた上での話ですよね。

(回答) はい。

- ・私はネットでいろいろと調べたのですが、もっと踏み入れた検討をされたほうがいいと思います。例えばここに会社がいっぱい書いてあるから、導入実績や、万が一のときの事例、この会社は本当にルールにのっとってやっているのか、満足度や評判、ここの調理師に変わってレベル的にどうなったのか、そういうふうなことを踏まえた上で話されたほうが、やはり保護者も納得がいくと思います。単に委託ということでは、「何のことだ、また質が落ちて」などと言われる可能性があるから、それならば根拠を示して踏み入れた答申をされたほうがいいと思います。

保護者の視線もなかなか厳しいところがあるので、給食センターの民間委託をするのであれば、きちんと根拠を示した上でこうしますというところまで踏み入れて検討していただきたいです。あと、予算は、民営化すると何年後かには、今の加西の予算と変わらないし、味が良くおいしくなっていくというふうになるということを出されれば、保護者も納得されるでしょう。ですから、信頼性もある、こういう試算もある、実績もあるというところを踏み入れて保護者を納得させるような形で、メリットもデメリットも考えながらされたほうがいいと思っています。

ネットを見ていたら、結構いっぱい載っていて、会社の実績まで全部書いてあったと思います。その辺もひっくるめた資料を出せばデータが生きてくると思うので、それを見ながらここには専門家の先生が一人いらっしゃいますので、その先生も踏まえてきちんとした答申を出していただけたらと思います。また進捗も教えていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

(回答) ありがとうございます。

- ・僕の思いは少し違っていて、この委員会でどこまで委託について話し合うのか、業者選定まで行くのかということです。まず、民間導入がいいのか悪いのかということやメリットとデメリットをきちんと出し合って判断いただいて、それで民間委託をするのであれば、業者選択は次の段階かと思っています。だから、この委員会で審議はどの辺りまでお願いをするかということです。当然、民間委託での前例もありますし、他市での良い例や少し困っているようなところもあると思うのですが、その辺りも洗い出してもらってそちらに踏み切るか、場合によっては委託しても調理員さんは現在の人で経営される可能性も十分あるわけです。だから、その委員会の役割について、ここまできちんと出してやってくださいというあたりはしっかりとお願いしてもらって、きちんと答申いただいてから次の段階として業者選定に入っていくのかと思っていたのですが。

(回答) その辺りを補足させていただきますと、業者の選定というのは次のステップ、来年度の段階になります。この委員会ではまず委託を進めるかどうかについて先生

方や保護者の方のコンセンサスをいただくということで、そこまでが今年度の部分です。そして、答申で承認いただいた後、事業者の方との交渉ということになります。業者選定は来年度に考えているところです。業者選定は公募により、市の定める要求水準を満たし、最もすばらしい提案をされた事業者を選びたいと思います。今のレベルを下げることはやる意味がありませんので、今以上に質を高めてより安定的、安全な給食が提供できるよう検討を進めていきたいと思っています。

- ・ 食材はついこの間までとても高かったですね。キャベツでも 1,000 円のときがありました。今は本当に元に戻ったというぐらい安くなりましたが、給食費はどのようなになっていますか。

(回答) 副食やお米が高くなって、燃料費やガス代も高いです。これだけ値上がっているのも、もし無償化をしていなかったら、他市のように値上げしないとできなかったと思います。今は無償化なので市の予算の中で何とかやっております。公会計ということで、浪費しているわけではないのですが、もし原価が高くなって足りない、予算の範囲で賄えないという部分については、財政当局とも協議して対応もできますので、その辺りは大変助かっています。

- ・ 一般的なところで買えば高くても、給食費は安くもできないでしょうが、ここに書かれている愛菜館や JA などを買われているので、その点では安くしてもらえよう話合いもされているのでしょうか。加西市からも何か安くするために、このようにしてくださいといった提案はされているわけですね。

(回答) 食材を選ぶときには市内の特産物、安全な物を選ぶという基準を決めております。その分どうしても料金が上がるのは仕方ない部分だと思います。ただ、事業者が発注するとき見積合わせをします。現在のところはその当初の見積合わせ以上の値下げ交渉は行っていません。

- ・ 民間になった場合でも、この仕入れ先はそのままですか。民間が決めるのかではないですね。

(回答) 献立とか食材の選定は、これまでどおり栄養教諭が行います。

- ・ 民間によっては自分たちの儲けのためにというふうになりかねないと思うので、そういうところをしっかりと管理していかないといけないと思います。そういうところは契約書をしっかりと作ってやってほしいと思います。

(回答) 西脇市とか近隣の例も見ながら、どういう契約の仕方がいいのか検討していきたいと思います。

- ・資料の中の任期の書き方について、統一したほうがいいと思います。

9 議決事項

議案第16号 加西市教育振興基本計画審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第17号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

原案どおり可決

議案第18号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第19号 加西市認定こども園評議員の委嘱について

原案どおり可決

議案第20号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第21号 加西市立学校給食センター運営方式検討委員会設置要綱の制定及び委員の委嘱について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

別紙資料をご覧ください。

4月23日は社会教育推進員の研修会をコミセン小ホールで行っております。

4月24、25日には米原で近畿都市教育長協議会定例総会がございまして、特別活動——いわゆる特活について名古屋にある椙山女子大学の山田先生から非常にいいお話

がありました。また、紹介していきたいと思っております。

4月28日には西脇市議会の視察がございまして、特に不登校等に関してたくさんの質問が出ました。不登校については今、大きな問題です。

4月29日には連合婦人会総会がありました。

5月1日は定例校長会がありました。

5月2日、12日、13日には、かしの木学園の開講式で挨拶をさせていただいております。

5月8日は文化連盟総会がありました。

5月9日からタウンミーティングがあり、いろいろなご意見をいただいております。いただいた意見の中には反映できるものとなかなか難しいものがありますが、その辺はできるものから順番に反映していきたいと思っております。

5月14日には統合中学校の設計協議を行っております。基本設計ができていますので、今後、実施設計という形でいきますが、まだまだたくさんの協議事項がございまして。短い時間の中で何とかいいものをつくっていききたいと思っております。

5月17日は加西特別支援学校の運動会がありました。みんなとても元気に頑張っていて楽しく運動会を行っておいまして。先生も一生懸命関わっておられていい風景だったと思っております。

5月19日から校長面談を行っております。各学校の校長先生に今年の目標、今の課題、教員の状況等を聞きながら、対応も含めて考えていきたいと思っております。

5月20日は丹波の森公苑で市町村教育委員会連合会理事会、総会、研修会がありました。深田教育委員はありがとうございました。中央教育審議会前会長の荒瀬さんから講演がありまして次の学習指導要領についての基本的な思い等もお聞かせいただいて、そういう意味でよかったと思っております。

5月21日は教育委員の皆様との事前打合せがあり、ありがとうございました。

5月22日は教育委員計画訪問がありました。ありがとうございました。学校の実態も見ることができました。

5月23日は万博へ、私は富合小学校と一緒に行ってまいりました。一番多い日だったらしくすごい人で、よく全員無事に帰ってきたなと思っております。やはり小学生の引率というのは大変だと身を持って感じました。先生方は本当にあっち行きこっち行きしながらよく動いていただいて、何とか無事に帰ってくることができました。

5月24日には加西市青少年補導委員連絡協議会総会を行っております。補導委員のほぼ全員の皆さんに出席いただき、非常に熱心に参加いただいております。

教育総務課長兼施設係長

令和6年度加西市教育委員会点検評価について報告します。今年度は昨年度と同様、教育委員会評価コメント欄にコメントを入れていただきたいと思います。各委員

様におかれましては担当の箇所を振り分けておりますので、そこにご記入いただき 6 月 3 日までに教育総務課へ提出をお願いします。それをまとめて 6 月の定例教育委員会にお諮りする予定です。また、返信用封筒をお渡しいたしますのでそれに入れてご返送いただいてもいいですし、メールでご返信いただいてもいいですので、どうぞよろしくをお願いいたします。

（教育長からの補足）今年度から取組み目標、実績自己評価につきましては、記述方式で書かせていただいております。理由は今までの数値方式にしますと、どうしても評価が数値で表現できるものに偏っていたり、数値は例えば 80% などあるのですが、その数値の意味が明確でなかったり等々いろいろございまして、より教育委員会が現実、現状行っております活動について、しっかりと内容がそのまま表せるような形ということで、この文章表記に変えさせていただいています。そういうことで今までと変わっておりますが、よろしくをお願いいたします。コメントも大変ですが、よろしくをお願いいたします。

学校教育課長

小・中・特別支援学校の教育活動について報告します。

4 月 7 日の始業式以来、今年度も既に 1 か月半が過ぎようとしています。この間、学校参観日や PTA 総会、中学校部活動の親善大会や中学校 3 年生の修学旅行、北条中学校区の三つの小学校では既に 5 年生の自然学校を終えています。5 月 17 日には加西特別支援学校の運動会が行われました。先週金曜日には九会小学校と富合小学校、宇仁小学校、泉小学校の 4 校が大阪・関西万博に行ってきています。中学校では中間テストも先週終わりました。

毎年のことではありますが、非常に慌ただしい 4、5 月を今、乗り切ろうとしているところです。毎日の授業はもちろんですが、どの学校も順調に年度初めの良いスタートを切れています。子どもたちは落ち着いた学校生活を送れているということを報告いたします。

総合教育センター所長

令和 7 年度総合教育センター教職員研修講座について報告します。資料として研修講座一覧を本日、机上配付しております。昨年度末のアンケートでいただいた意見を参考にしながら、教職員のニーズに応える講師や教育現場を取り巻く課題に応じた研修内容を計画しています。教職員の授業力、教師力や専門性等の向上と、学校組織力の向上をねらいとして 43 講座を計画しました。

教育講演会はコグトレや著書「ケーキの切れない非行少年たち」で有名な宮口幸治教授を講師にお迎えし、しんどさを抱える子どもたちの理解と支援をテーマに講演会を準備しました。日時は 7 月 30 日に決定いたしました。教育委員さんの予定に入れて

いただき、可能であれば参加いただければと思っています。

一覧の6、若手教員研修講座は宇仁小学校からメキシコに行っている青田主幹教諭とオンラインでつなぎ、海外から見た日本の教育の強みについて若手教職員が学ぶ、今だからこそできる講座を計画しました。10番と29番では、新井肇教授の管理職向けと一般教職員向けに生徒指導に関する研修講座を開設しました。42の加西市教育情報セキュリティポリシー研修は、加西市情報課の協力も得ながらオンラインとアーカイブ配信で開設し、公務員の中で最も多い情報漏洩防止の一助としたいと考えております。

ほかにも多くの研修講座を開設しましたが、本年度も教職員の現状に向き合いニーズに応えられるよう工夫を重ねながら、効果的で充実した研修講座を運営していきます。

机上に令和6年度の年報を封筒に入れて配付しております。またじっくりとご覧いただきまして、総合教育センターの活動にご意見、ご助言いただきますようお願いいたします。

教育委員の質問と総合教育センター所長の回答

- ・本当に多岐にわたる研修講座を考え、計画していただいております。学校現場は教育課題が山積していく中、ヒントをお持ちの先生方に講師を務めていただいて、またできるだけ積極的に自分たちでグループワークができるようなことも考えていただきながら、充実した研修講座になればと願っております。よろしくお願いします。

学校再編室長

まず、泉小学校開校準備委員会について報告します。5月28日水曜日の19時から北部公民館で第7回泉小学校開校準備委員会を開催します。今回は主にスクールバスの運行について協議をします。保護者の方や地域の方から主に乗降場所等の変更の要望事項をいただいておりますので、そちらの検討結果をご回答させていただいてまたご意見をいただきます。あわせて、スクールバスのルート案や時刻表についても、今の段階の案をお示ししてご意見をいただきます。

もう一点、統合中学校の設計についてです。統合中学校の基本設計が終わりましたので、配置図と平面図については、議会で説明して、その後、ホームページ等で公表をさせていただきたいと考えております。

教育委員の質問と回答

- ・議会は報告ということですか。

(学校再編室長の回答) 報告させていただいて、議員さんからはご意見や質問等があるかと思います。

- ・ ホームページには、いつ掲載されますか。

(学校再編室長の回答) 議会報告の翌日ぐらいに公表したいと考えています。

- ・ これは「こうなりますよ」と出すのか、進捗として「今、こういう感じになっています」と出すのですか。

(学校再編室長の回答) 現在の案ということで発信して、またご意見等もいただきたいと考えています。

(教育長の意見) ホームページに載せた分については、メール等で保護者と学校の先生などにご意見をいただくように連絡いただけたらと思います。

(教育部長の回答) 議会に報告する日には校長会もありますので、そこでも報告させていただきます。また、ホームページにも載せる予定です。そのタイミングで学校にも送付させていただこうと今のところ市長と話をしています。

(教育長の意見) みんな忙しいので見られるものなら媒体は何でもいいと思いますが、先生方にもこういうのがありますということは一応、連絡していただいて、意見をくださいと言っていたらと思います。それと併せて保護者についても、メールにてホームページのここにありますからご意見をくださいというような形で、というのも多分、広く意見をいただく機会というのはもうなかなか持てないと思いますので、ここでできるだけことはしておくべきだと思います。そこはよろしく願いいたします。

- ・ バスについてはとても丁寧にいただいているので、多分、納得いただけるものができるという感じがしました。

統合中学校の設計の件ですが、アンケートを取るときにはどういう情報がほしいのかということについて、例えば学校を3階建てにしてほしいとか、場所をこっちにしたほうがいいというような意見ではないですよということが最初から伝わるような文章を組んでほしいと思います。具体例では設計の話にも出ていたと思うのですが、例えばトイレを使うときの消音装置——音姫でしたか。そういうのが欲しいというように設計者や業者では気づかないような意見、そこを使っている生徒や保護者、先生にしかわからない、気づかれないような意外な意見ができる限り出るよう誘導するではないですが、そういうアンケート形式で打っていただきたいというのがあります。デジタルサイネージやこういうのがあったらいいというように、今

までだったらあまりしなかったような、気づかないような小さな意見が集まるアンケートであってほしいという希望です。よろしくお願いします。

- ・アンケート用紙ができましたら、公表する前に教育委員に教えていただきたいです。(教育長の回答) アンケートというより、意見をくださいとお願いする中で今のようなことを入れるという感じですね。アンケートという形は難しいので、そういう細かく気づかないようなことがあったら何でも書いてくださいということです。例えば校舎は3階建てにしてほしいとか、位置関係を変えるとか、そういうのはもう無理なことでできませんので、基本はこの設計図の中でできることや気づいたこと、こういうのがあったらいいなと思うようなことを書いていただくということです。その文章ができましたらまた送らせていただきます。

- ・意見を聞くとときに「こういうのが欲しい」ではなくて「今の中学校にこんなのがあったらいい」といった聞き方ができればと思います。要は困り事を聞ければ、こちら側でもそれに対応して考えることができるのですが、「こうしたい」ということだけを書いてもらおうと、困っていることの情報は入ってきません。もしできるのであれば、現状で今の学校にこういうのがあったらいいと思っていることも含めてその辺も意見をいただければと思います。

- ・あとは、回答率を上げるための工夫をされたほうがいいかもしれませんね。せっかくここで意見を聞こうとしているのに、帰ってきた回答率が5%だったとなれば、また「意見を聞いてないだろう」と言うような保護者が出てくるかもしれません。難しいけれども、できたら回答率は80%を目指してとか、もうちょっと下げて過半数の60%でというようにできませんか。

(教育長の回答) 逆に回答率を上げようと「何でも答えてください」ということにすると、そんなに思っていない意見まで入ってしまうので、そこは少し難しいところです。確かに回答率があまりにも少ないのはよくないのですが、どちらかといえば「意見のある人は必ず書いてね、この時期でないともう後には反映できないよ」というような書き方でお願いしたほうが、整理するほうにもいいと思います。

- ・教育長が言われたように、とにかくきちんと周知は全員に行き渡るようにして、それであまり回答が返ってこないというほうが、「それで進めてくれ」ということで逆にいいのではないかと思うのですが、「そんなの知らなかった、それなら言ってくればよかったのに」という声だけは後から出ないようにしてほしいと思います。
- ・せっかく校長会もあるので、校長先生から楽メでもいいので全保護者に送信しても

らって、「ここに載っています」というふうに必ず周知していただきたいと思います。すると「そんなの聞いてない」と言う保護者に対しても、「それは違う、楽メで送ったでしょう」と言えます。周知をしたら、あとは校長先生に任せておけばいいと私は思います。

見ていると校長先生の中には、時間があれば毎日ホームページを更新するまめな先生もおられますから、ホームページで「ここまで進んでいますので、ぜひ市のホームページを確認した上でQRコードを使って意見を必ず送信してください」というふうにできます。教育委員会事務局が紙に書いて、校長先生に「これを楽メで全保護者に送ってください」とお願いしておけば、多分、校長先生がそのままスキャンしてボタンを押したら全員に飛ぶと思いますから、校長先生も文面を考えずに「見てください」ということだけで、そんな難しいことを書かなくてもいいと思います。

ホームページが見にくいというような保護者も結構いますが、取りあえずホームページについては「この順番で進めば統合中学校の意見のほうへ入れます」と説明しておけば、保護者も多分、文句は言わないと思います。

あと、回答率については先ほど教育長が言われたとおりで、かえって回答率はそのまま何パーセントなのかわからないけれど、取りあえず「こういうふうにホームページに載せています」ということを保護者へ徹底的に周知するほうが早いと思います。大変だと思いますが、保護者への周知は多分、簡単にすぐできると思うので、それをやっておけば万全だと私は思います。お願いします。

- ・学校教育課の話に戻って申しわけないのですが、今年のトライやるでは何か目玉とかがありますか。コロナの頃は変則的なことがありましたが、多分、昔の形に戻っていると思いますが。

(学校教育課長の回答) 今年は来週からスタートですが、特に大きな変化はないです。子どもの数が減っていますので、事業所が足りなくて困るという声は今のところ聞いていないです。北条中は若干、生徒数が多いので苦労していますが、慌てるほどではないと聞いております。

あと、最近の課題に近いのは、本来5日間ですが、事業所によっては「4日間しか受け入れられません」とか、たまに「3日間しか駄目です」というところがあります。以前はトライやるが始まる前の日曜日や終わった翌日の土曜などに振り替えてやっていたのですが、その方式をできるだけやめて、今は3、4日しか受け入れられない事務所については、足りない1、2日はまた別の事業所に引き受けてもらうというやり方をしています。そこは子どもにとってどうなのかという声が教師から少し上がっていて検討課題となっています。

- ・ありがとうございます。子どもたちの活動などを見かけたら声をかけていきたいと
思います。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

- ・市民会館の駐車場入り口のところにカラーコーンが置いてあります。多分、入りづらくてぶつかるから置いていると思うのですが、最初はなかったと思います。真ん中にあれは要らないと思っているのですが、何か聞いていますか。

(生涯学習課長の回答) 市民会館は文化スポーツ課所管の施設になりますので、所管課で決められているのだと思いますが、現在の駐車場の対応について、当課では何も伺っておりません。

- ・もしかしたらそこに車を止める人がいるから、車を止めないようにコーンを置いている可能性もありますよね。

- ・いや、多分入りづらいからだと思います。わざわざ残して、入りづらいままでずっと行くのか、何か知っていたらと思っただけですが、課が違ったらいいです。

(教育長の回答) 工事して真ん中であつたほうがいいという思いで多分つくっておられるのですが、コーンが置いてあるということは、低いので近くに寄ると真ん中の境が見にくくて、それで多分こすったりしないようにコーンが置いてあると思います。今、おっしゃっているのは、あれをなくして普通にラインだけでいいのではないかということですよね。もしかしたら入る方でそう思っておられる方は多いかもしれませんが、そのためにはまた工事が必要になりますので、担当課にはそういう意見があつたということはお伝えしておきます。

- ・5つの無料化の特にこども未来課がしているゼロ歳からの保育料無料についてお聞きします。これについては前にも伊藤部長に少し聞いたのですが、ゼロ歳から2歳の間で所得制限なしの無料化という取組みは、県内の他市町村ではないのですか。所得制限ありならあるのですか。

(こども未来課長の回答) 所得制限で非課税世帯とかならゼロです。

- ・それなら、逆に言えば、非課税世帯というのではなく、いわゆる普通の所得制限があるところもないということですね。非課税世帯という所得制限のところはあるのですか。

(こども未来課長の回答) 非課税世帯の方は0円というのは、全国同じです。

- ・全国的にはどこかにあるのですか。

(こども未来課長の回答) 今わかりません。

- ・子育て5つの無料化についてはせっかくパンフレット等をいろいろとつくっていきすし、保育料の無料化というのはほぼメインだと思うのですが、ほかで聞いてもほとんどの人が知らない状況なので、これはプロモーションができていのかと思います。また、せっかく子育て支援でやろうとしていることですから、要はそれを利用される方が増えたほうがいいということですよ。

(こども未来課長の回答) はい。ただ、保育に欠けるお子さんを預かるので、ゼロ歳から2歳のお子さん全員がこども園や保育所に行けるということではありません。

- ・私は今まで個人的に市内と、特に市外のかかりの人に聞いたのですが、子育て世代でこれを知っている人はいないのですね。せっかくしていて、もし進めたほうがいい事業だったら、もう一回プロモーションをと思います。例えばこのチラシも、今だったらほかに追加でいろいろ好評な応援事業とかがあっても、追加でそれを書いたりもできません。ぱっと見てゼロから6歳は所得制限なしの保育料完全無料化というのが普通メインになるはずですが、この5つの無料化という文字はよく見るし、言葉の認識もされているのですが、その辺もせめて市内の人はみんな知っていてほしいし、それが広がって行って、市外の人でも比較してそのサービスを使う人に対してはすぐに目に入るようにしてほしいと思います。その辺はこども未来課としてどういうふうにプロモーションを持っていたのかも今日知りたかったのですが、担当課が違うかもしれませんね。

(こども未来課長の回答) 窓口にご相談に来られる方は無料化をご存じだと感じていますが、お勤めしたいと考えている方に情報が入っていないこともあり得ると思いますので、そこは協議しながら、プロモーションの仕方について担当部署とも相談しながら実施したいと思います。

- ・教育委員会のものではないのですが、これもいっぱいいろいろ書いてあり、伝えたいことと実際のプロモーションが少し違うのかなということもあります。一回つくってから追加や変更ができないと困るので、また検討いただければと思います。

(こども未来課長の回答) 周知の方法とどういう方にどんなふうにプロモーションをしていくのかというところを検討していけたらと思います。ありがとうございます。

(教育長の回答) 加西市の一番の強みは保育料をゼロ歳児から無料にしているということで、それはほかの市にはないことなのに、そのことがパッと見てもあれではわ

からないということですね。担当課にもその点は話をして、本市の強みがもっとわかるようなチラシにしないといけません。結局、市外の人に「加西市ではゼロ歳児から無料なんやで」と言ったら、ほぼみんな知らなかったというような状況なので、やはりどう周知するかということも含めて、もっともっと強みをしっかりと伝えていけるような方法を考えていけたらと思います。

場合によっては子育て支援のことに限らず、教育委員会独自でチラシをつくれるような予算を確保できればという気はします。そんなにきれいなチラシでなくていいので、内容だけがきちんと書いてあれば、ここで刷ったようなものでもいいと思います。そこがどれだけ伝わるかということがゼロ歳児の人口、そして本市の人口を増やしていく非常に大きなポイントになると思うので、また担当課とも相談しながら私のほうでも考えていきたいと思っています。

- ・お勤めしていなくても保育所は入れていただけるのですよね。
(こども未来課長の回答) 保育に関してはお勤め以外でも、保護者の病気などの理由で保育に欠けるお子様を預かることはできますので、ゼロ歳から2歳についてはそういう方をお預かりすることになります。
- ・今まではお勤めをしていないと駄目でしたが、それはオッケーなのですか。全国的にそうなのではなかったですか。
(こども未来課長の回答) 3歳児以上に関しては教育でお預かりしているとかいう形もありますので、そういう方はいらっしゃるのですが、あくまで保育については保育に欠けるお子さんを預かることになりますので、お勤めもしくはご病気や介護であつたりといった事情も含めてですが、お子さんをおうちで養育することが難しいという方に関してお預かりするということです。
- ・ではお勤めはしていないと駄目なのですね。
(こども未来課長の回答) 基本的にはお勤めされている方が多くて、それ以外の事情の方ももちろんいらっしゃいます。
- ・昨日、豊岡の芸術文化観光専門大学の平田オリザ学長の話聞く機会がありました。とにかく人口減少の本質は何かというと、特に豊岡が中心の話だったのですが、豊岡にはこの大学が一つあるのですが、大学へ進学したらもう帰れないからほぼ出ていくのですよね。大都市へ出て行って、それで終えて帰ってくるのが男性は半数弱、女性は4分の1しか帰ってこないそうです。だから、そこで人口を増やそうと思って絶対無理という話をされました。特に、女の子に「おしゃれなカフェがありますよ」とかそういう住みよいところの魅力をつくって、できたら女の子に男の子を

連れて帰ってもらおうというような形を考えていかないと、実はもう人口減少は止まらないという話がありました。

それはそうだろうなというふうな話で、この教育委員会だけの話ではなくて、まちづくりであるとか地域振興の話とかされるのですが、今、荒木委員が言われたように加西市もいろんな施策をつくっているのですが、それが本当に周りに魅力のある「あ、加西すごいな」というところまで行っていないのです。今日、事前にも教育長と話させてもらったのですが、そういう広報の仕方であるとかそういう工夫を何かしていかないといけないということです。町の魅力をどうやって上げるか、その中には教育のことであったり医療的な分野であったり、当然雇用のこともあるのでしょけれども、そういうことをプロジェクト的にやっていかなければ人は増えないのかなと、人が増えないと学校は先細りになっていくしかないのです、そういうふうにして全体的に考えていかないといけないということを改めて昨日の講演を聞いて思いました。そんな話があったということだけお伝えしておきます。

- ・食育のことをお聞きします。食育というのは多分いろいろなことが多岐にわたっていてどれをどのような目標にするかというのがもちろんありますが、点検評価の4ページでは今の取組み目標として使用量の拡大をうたっています。これにはどんな意図があるのでしょうか。先に私の意見を言うと、1人当たりの市内産食材使用量は今回が16.9kg、過去を見るとこれは同じものなのかわかりませんが、平成30年度は年間消費量が17.8kg、令和3年は19.4kgです。この数字が一緒だったら、この1人当たりの地元食材の量を目標に持ってくるのはどうなのかなというのがあります。

要は食育の一つとして給食の中でそれをするのなら、せめて安定供給できる物を使ってほしいというのと最低限の量でいいのではないかというのがあります。いわゆる地元食材の量を増やしたほうがいいというそこを市の目標にしていることが引かかるなと思いました。

学校でいろいろと食育をやっているのは知っていますが、やるのだったら量ではなくて最低限の安定供給できる仕組みの中で、安定供給できないところに関しては難しいかもしれませんが、いわゆる市内の食材をどう使ってどうかというような本当に学校に伝わるところまで逆にやってほしいです。今後はあまりこの量にはこだわらないほうがいいという感じがしたのですが、その辺をわかる範囲で答えていただけたらと思います。

(教育総務課長の回答) 目標としてできるだけ地元産を使うということをずっと言っておりますので、できる野菜に関しては地元の農家さんをお願いして「こんなのはできないですか」ということで、見積りを取らせていただいています。食育の考え方では、どちらかというと子どもの教育という形で、食育は何かというのを伝えたほうがいいのではないかという意見ですね。もちろん地元の食材を使って食べると

いうのは大切な食育ではありますが、教育として学校で伝えていくことをもう少しきちんとしたほうが良いということで承ってよろしいですね。

(教育部長の回答) 使用量を問題にするのはどうかということですが、実は使用量がとても増えた年がありました。なぜかという、神戸大学のジャガイモを給食に使ったときがあり、ジャガイモは重いので結構増えるのです。その次の年はジャガイモが収穫できなくなって減ってしまいました。ですから、地元の食材というのは安定供給できるかという、なかなか難しいなと思います。種類を増やすという方が目標としてはやりやすいかとは思いますが。

- ・食材をつくる側にとっても、要求する側にとっても、とにかく不便だと思いました。

1 3 今後の予定について

- ・令和7年第6回定例教育委員会 6月25日(水) 14:00～5階大会議室
- ・令和7年第7回定例教育委員会 7月23日(水) 14:00～4階入札室(大)

1 4 その他

なし

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 5 月 26 日

出席者

(出席者署名)